



旭農



母校の教育の充実を願って

第八代同窓会 会長
福島 堅一 (35 Ab)

旭農同窓会会員の皆様には、令和2年の新年を御家族皆様と共に健康で、大きな目標を心に誓い迎えられた事と思います。新しい年号に、平和と発展に願いを込めて、出発されたと思います。

昨年の国際情勢は「触即発」の状態です。平和を願う国民として心配は堪え難いものがあります。

特に石油をはじめエネルギー資源をめぐる情勢は、大きな国際問題だと思えます。

又昨年は地球規模の災害が連続し、首都圏をはじめ全国的に甚大な被害を受けた地域の皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、地球温暖化対策には、世界中の迅速な取り組みが必要と思えます。

厳しい環境の中で食、農、環境を農業教育の基本としている我旭農校を果立ち活躍している我同窓会の皆様にとっても日本農業が今、国際競争の渦の中にまき込まれています。

国ではこれ等に対処すべく農業構造改革が進められています。IT時代の中で大型機械の導入が計られています。その運用が非常に大きな課題です。長期に渡る、しつかりとした計画と目標が必要です。

旭農生の活躍は旭川経済圏、又北海道、全国各地で評価され

ています。

旭農校は近く開校100年を迎えますが、永い歴史の中で、幾多の世界大戦の試練の中で、先輩の皆様が努力と校長はじめ、教育力のある教職員の皆様によって築き上げられた農業教育を受けた旭農校の卒業生の力こそが、これ等難関を乗り越えられると確信しています。

農業だけでなく、日本の産業構造にも大きな影響をもたらす少子高齢化の時代にあつて、少数精鋭の地域産業活動家として、旭農校校訓の精神を窮められることを期待します。

同窓会としても母校に対する愛着と誇りをもつて援助、協力を続けて行きます。同窓会の会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

旭川農業高等学校の環境、施設の充実と教育の発展を心よりご祈念申し上げます。

旭川農業高等学校の環境、施設の充実と教育の発展を心よりご祈念申し上げます。

新時代を拓く旭農に向けて

第二十八代 校長
田村 弘樹

令和2年が明けて早2ヶ月が過ぎ、学校では年度のまとめの時期を迎えております。永

農 旭農同窓生の皆様には、日頃より本校の教育推進のために、特段のご高配を賜っておりますことに、心よりお礼申し上げます。昨年10月には、東京同窓会に福島会長とともに出席させていただきました。校訓「誠実、勤労、剛健」のもと、重厚堅実の校風を積み重ねてこられました卒業生の皆様は、全国の各界・各層で目覚ましい活躍をされていることは、誠に同

慶に堪えません。

さて、「十年一昔」という言葉も最近ばかり使われなくなり、人生百年時代やソサエティ5.0の社会の到来など、学校、地域を取り巻く環境は、かつて経験したことのない速さで変化しています。変化には変化を持てあたりつつ、4年後に開校100周年を迎える歴史と伝統を胸に刻み、不易と流行を見極め常に「上」の充実を目指す学校づくりに尽力してまいります。

学校の近況につきましては、生徒たちは文武両道、明るく伸びやかに学校生活を送っています。道教委の研究指定事業(2事業)や、各学科産官学協働型の教育実践の成果は、全道の農業高校のみならず全ての高校での先進事例として、その成果が広く発信されております。加えて現在、経済産業省の未来の教室(STEAM教育)の指定を受けて取り組んでいます。今年度、農業高校では全国で2校の指定となっています。これは人工知能AIやIoTといったイン

ベーションが様々な分野で進む中、既存技術とスマート農業を掛け合わせて、創造的な課題解決に取り組むといったプログラムになっています。この研究成果が日本政策金融公庫の高校生ビジネスグランプリにも選ばれて

この1月に東京大学本郷キャンパスで最終プレゼン、審査が行われ優秀賞を受賞しました。

この他、本校は農業クラブの北海道連盟事務局校です。生徒たちは自覚と誇りを持って取り組んでおります。今年度の農業クラブ全国大会は山形を中心に南東北で行われました。本校からは21名という、恐らくこの学校からは全国の出場人数になったものと思います。プロジェクト、意見発表含め数多くの分野で入賞を果たしてくれました。地域大会から加えると、最優秀賞を受賞した生徒の割合が、昨年より45%増えておりますので、生徒の頑張りが大きな成果につながっております。現在、高等学校教育においては新学習指導要領への対応に向けて、「主体的・対話的で深い学び」「探究的な学び」がキーワードになっています。これらを実践してきたのがまさに学校農業クラブ活動です。農業クラブ活動の成果をもっと多くの人に見ていただき、その手法や成果、効果を議論しさらに充実させていきたいと考えております。

今後とも、平素、同窓生の皆様から頂いておりますご厚情を心に刻み、努力してまいり所存ですが、昨今の高校教育、とりわけ農業教育を取り巻く課題は大きく、学校職員だけでは解決困難な課題も数多くあります。どうか今までに倍してお力添えを頂きますようお願い申し上げます。



●令和元年決算報告・令和2年予算案

項 目	R1決算	R2予算	適 用
前年繰越金	816,270	944,643	
正会員会費	918,000	942,000	卒業生157名×6,000円
雑収入	658	285	利息他
基金運用益金	2,333,072	2,333,072	国債
合 計	4,068,000	4,220,000	
事務費			
備品費	30,000	30,000	
通信費	40,000	40,000	切手・葉書他
印刷費	20,000	20,000	封筒印刷代
消耗品費	30,000	30,000	PPC用紙他
幹事活動補助	50,000	50,000	活動費
小 計	170,000	170,000	
事業費			
機関誌	300,000	300,000	印刷 送料他
記念品	240,000	240,000	名刺入れ、印刷包装代
慶弔費	60,000	60,000	弔電・生花・香典他
諸費	300,000	300,000	支部総会祝儀他
小 計	900,000	900,000	
役員手当	120,000	120,000	役員12名
旅費	600,000	600,000	総会旅費等
会議費	200,000	200,000	会場費他
予備費	378,000	530,000	集い助成他
教育振興助成	1,400,000	1,400,000	母校へ助成
支部助成費	300,000	300,000	各支部助成
小 計	2,998,000	3,150,000	
合 計	4,068,000	4,220,000	

●令和元年 教育振興基金(国債運用基金額 145,000,000円)

基金額	利息	税金	基金運用益金
145,000,000	2,755,000	国税 421,928 地方税(法改正により免除)	2,333,072
合 計	2,755,000	421,928	2,333,072

●令和元年度事業報告(H31.1.1~R1.12.31)

1月12日	役員会・会計監査 集い実行委員会
1月26日	平成31年同窓会総会 同窓生の集い
2月28日	役員会 同窓会入会式
3月 1日	第71回卒業式出席 機関紙第54号発行
4月10日	平成31年度入学式出席
11月30日	役員会 集い実行委員会
12月21日	役員会 集い実行委員会

■支部総会:旭川東・東神楽・末広・神居・札幌・上富良野・東旭川・比布・東京・鷹栖・当麻・十勝・苫小牧・旭川北

●令和2年度事業計画(R2.1.1~R2.12.31)

1月11日	役員会・会計監査 集い実行委員会
1月25日	平成31年同窓会総会 同窓生の集い
2月28日	役員会 同窓会入会式
3月 1日	第72回卒業式出席 機関紙第55号発行
4月 8日	令和2年度入学式出席
4月~	役員会開催・支部活動支援・教育振興基金助成・同窓会の集い開催・母校諸行事後援・母校生徒会農業クラブへの後援・創立100周年記念実行委員会の開催

旭農同窓会総会及び集いについて(報告)

同窓会 幹事長
山 川 勝(38Ab)

旭川農業高等学校同窓会総会が、支部長及び代議員の出席のもと1月25日旭川市内で開催されました。福島堅一会長(S35)から、道内をはじめ東京支部の参加いただき総会を開催できましたこと、又日頃から積極的な同窓会活動への参加と母校への温かい支援に感謝申し

入賞するなどの活躍があり、農業高校が注目されておられます。母校においても花弁実習加工品の販売などは行列のできる状況です。農業クラブ全国大会においては6部門で

総会議事に入り、事業報告、決算、監査報告並びに新年度

閉会しました。

業高校への関心は高まりその期待に応える指導をいただいております。同窓会もそれに恥じない支援を続けていく挨拶がありました。

事業計画案、予算案について承認。次年度の同窓生の集い当番期の確認が行われ総会を終了。引き続き永農・旭農同窓生の集いが、山田孝実行委員長(S57西神楽支部)の挨拶で開会、恩師を囲んで同窓生と和やかに懇親・卒業記念アルバムから抜粋した懐かしい木造校舎や学校行事、部活動、修学旅行などが映し出されるたびに歓声が上がりつきました。最後は「永農歌」「旭農校歌」を全員で合唱、学生時代の青春を思い出に閉会しました。



旭農米おにぎり販売会



水稻収穫作業実習



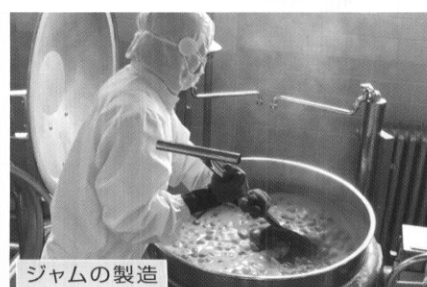
全道共進会入賞



販売会の様子



肉加工実習



ジャムの製造

農業科学科

食品科学科

旭農近況報告



頭 博 幸
教 村 西

同窓会会員の皆様には、日頃より母校「永農旭農」の教育活動への多大なるご支援とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。さて、同窓会機関誌の発行にあたり、生徒の近況等をご報告いたします。

まず第一に、農業クラブ活動についてです。プロジェクト発表会において、本校を当番校として行われた全道実績発表大会では、北海道を代表し7発表が出席。分野Ⅱ類で森林資源活用班が最優秀賞に輝き、本年十月に静岡県で行われる全国大会への出場権を得ました。また、全道大会最終日には、農業クラブ北海道連盟結成七十周年・北海道学校農業クラブOB会結成四十周年記念式典を挙行することができました。部活動においても、数多くの活躍が見られたところ。特に弓道部は二大会で全国大会へ出場したほか、文化部では写真部書道部の活躍が見られました。また、個人参加では二人の生徒がスキー(アルペン)でインターハイに出席することができました。このほか、農業科学科二年生三名がハワイでの研修に参加し、農業や異文化体験、現地高校生との交流を行い、見聞を広げるとともにコミュニケーション能力の向上にも努めました。旭農で学ぶ子どもたちは、農業クラブ本部校としての自覚と誇りを持ち、全道の農業クラブ員を牽引する活躍のみではなく、様々な分野での活躍が見られます。今後も、本校生徒の諸活動に対し、引き続き温かいご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

クラブ活動

(全国大会)

◆弓道部

第38回全国高等学校弓道選抜大会
2L 千葉あかり

◆スキー

第69回全国高等学校スキー大会(アルペン)
3F 新井廉
3L 小野崎浩

◆農業クラブ(南東北大会)

意見発表大会
3M 藤井実穂(優秀賞)
プロジェクト発表
分野Ⅱ類(優秀賞)
3M 金森柚葉
3M 吉田寿愛里
3M 上原碧純
3M 大場都久美

農業鑑定競技

樋口萌々(優秀賞)
3M 吉田ゆりか(優秀賞)
2F 市川諒(優秀賞)
3L 石尾さくら(優秀賞)
1L 川原ゆう

平板測量競技

2F 高嶋優斗 鈴木大翔
中坪季香

秋季代議員会

3M 藤井実穂
(全道大会)

◆弓道部

第74回国民体育大会北海道予選会 女子個人
2A 三島玲奈

◆陸上部

第72回北海道高等学校陸上競技選手権大会
2M 笹原(男子ハンマー投げ)
2F 覺幸(男子円盤投げ)
3L 東海林(女子やり投げ)
3L 東海林(女子円盤投げ)

◆写真部

令和元年度北海道高等学校文化連盟第43回全道高等学校写真展・研究大会
2L 海田(入選)
3M 高橋・2M 西井・1F 外田(以上佳作)

◆書道部

令和元年度北海道高等学校文化連盟第53回全道高等学校書道展・研究大会
3A 齋藤・3A 渡邊・3M 太田・3M 樋口・3M 高橋・3M 三谷・3M 三谷・3M 吉田・3F 高橋・3L 丸山・3L 梅原・3L 山中・2A 山本・2M 佐藤・2M 畠山・2L 福島・1M 高橋・1M 飛弾野・1L 小原

◆農業クラブ

全道意見発表大会
3A 能登亮太
3L 石尾さくら
3M 横井愛良(最優秀賞)
3M 藤井実穂(最優秀賞)
3L 丸山葉瑠花

全道実績発表大会

I類 水稻班(優秀賞)
II類 アグリデザイン班
III類 森林資源活用班(最優秀賞)
機械班(優秀賞)
中華まん班(優秀賞)
微生物班(優秀賞)
クラブ発表
農業クラブ執行部



◆第38回全国高等学校弓道選抜大会

全校生徒数

(令和2年2月1日現在)

学 科 名	1年生			2年生			3年生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業科学科	19	20	39	16	25	41	20	16	36
食品科学科	6	35	41	3	37	40	4	37	41
森林科学科	31	9	40	30	10	40	35	4	39
生活科学科	0	39	39	0	40	40	0	41	41
合 計	56	103	159	49	112	161	59	98	157

進路動向

(令和2年2月5日現在)
今年度の進路状況は、進学・就職ともに100%となりました。農業自営者が進学後も含め5名となり地域での活躍に期待されます。

今後ともさらなる進路指導の充実を目指し指導していきたくと考えます。

	希望者数	決定者数	決定率
進学	59	59	100%
就職	91	91	100%
自営	5(2)	5(2)	(将来自営)
その他	2	2	—
全体	157	157	100%

森林科学科



下川町での実習



インターンシップ



天幕演習林実習

生活科学科



販売会



ガーデニング甲子園(大賞)



ハーバリウム講習会

支部だより

1月25日(土)星野リゾートOM07旭川にて本部総会を無事終えることができました。そして、各支部において総会が開催されています。ご案内いただければ本部より可能な限り出席させていただきますので連絡をお待ちしております。また、今年度も支部への助成を行っておりますので併せてご相談ください。

各支部の総会において、会員の減少、新会員の勧誘、郵送費の負担などご意見をいただいているところですが対策を練って活性化されている支部がございました。是非本部までご連絡いただければと思います。

令和5年の創立100周年にむけ今年度より本格的に準備に入ります。協賛金など同窓生の皆さまにはご協力いただくことと多々あるかと思ひます。各支部におかれましてはご協力お願いいたします。

令和元年度支部総会開催支部

旭川東・末広・神居・札幌・上富良野・東旭川・東京・鷹栖・当麻・愛別・十勝・苫小牧・旭川北



●東神楽支部総会



●旭川東支部総会



●東京支部総会

永農・旭農同窓会本部役員・幹事

会長	福島 堅一 (35Ab)
副会長	長勢 孝志 (40Aa)
副会長	木村 峰行 (43A)
副会長	星大 隆子 (47H)
副会長	塚井 秀勝 (50L)
監事	高松 朗 (46A)
監事	菅原 孝夫 (48Ab)
常任理事	菅野 孝一 (44Aa)
常任理事	角谷 眞一 (45A)
常任理事	堀江 勝子 (50L)
幹事	山川 勝 (38Ab)
事務局長	齊藤 睦 (57H)
事務局会計	伊藤 則明 (55H)
事務局書記	野馬 吉嘉 (61F)
事務局	相馬 宏翔
事務局	小谷 翔太

〈事務局〉旭川市永山町14丁目153 母校内
☎(0166)48-2887・1320 ㊟48-1360

2021年 会員多数ご参加ください

永農・旭農同窓生の集い

開催日	2021年1月30日(土)
時間	14:30~
場所	星野リゾートOM07旭川
顧問期	43・48・53(卒期)
委員長期	58(卒期)
当番期	63・H5・H10・H15・H20 H25・H30(卒期)

編集後記

旭川農業高等学校同窓会機関誌「旭農」(永農通巻第56号)をお届けいたします。編集に際し原稿の執筆、資料、写真等をご提供いただきました方々に深く感謝申し上げます。機関誌「旭農」は同窓生の皆さんの「絆」であり「広場」でもあります。創立100年を前に伝統ある旭農会が絆をさらに強固とし新たな歴史を刻むことができたらと考えております。

同窓生各位のご健康とご多幸を母校より願っております。

逝去された会員の皆さまのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(文責 事務局出版)

永農・旭農同窓会 支部組織役員一覧 (令和2年2月1日現在)

支 部 名	支 部 長 名(卒期)	郵便番号	住 所
旭 川 中 央	安田 佳正(59F)		
旭 川 東	飛騨野 正幸(37Aa)		
旭 川 北	奥山 義三(41F)		
永 山 東	渡邊 佳則(39Aa)		
永 山 西 (事務局長)	松原 朗(48Ab)		
東 旭 川	古屋 勝(40A)		
旭 東 鷹	谷口 威裕(42Aa)		
東 末 広	柿林 孝志(42Ab)		
神 居	岡 康弘(29H)		
神 楽	上 隆利(35Ab)		
西 丹	辻 義照(26Fc)		
江 当 比	山本 哲夫(35P)		
比 鷹	橋本 祐一(旧 24F)		
愛 上 東	角谷 寿保(48Ab)		
東 神 楽	伊藤喜代志(48Ab)		
美 和 富	前井 敏夫(4b43)		
良 野	高井 優(46Ab)		
(連絡先 幹事)	川 高橋 義久(38F)		
中 富 良 野	高田 勉(47Aa)		
上 富 良 野	山本 康弘(51Ab)		
名 岩 見 小	照本 清光(36Aa)		
苦 日 留	中道眞佐義(46Ab)		
浜 頓	岸本 和彦(48H)		
苦 札 北	土橋 頼浩(44F)		
網 走	安井 士八(43Ab)		
紋 別	工藤 次郎(46Ab)		
十 路	和田 敏明(45Aa)		
釧 路	高橋 義輝(51H)		
滝 東	工藤 隆(46F)		
	柏崎 雅(新 25Ab)		
	橋村 博(55Aa)		
	東雲 良三(22Fb)		
	柴田 雅紀(H1Aa)		
	伊林 好(44Ab)		
	深谷 正信(30F)		
	春田 淑郎(28Fa)		
	本田 勝樹(37H)		
	宮下 光明(54F)		
	池田 昌己(50F)		
	清造 富二夫(33Ab)		
	村本 芳實(37Aa)		